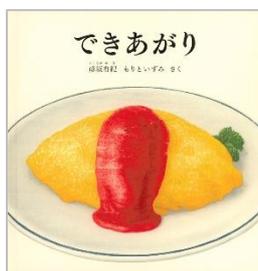


こどものほん 新刊あんない

2024年 7 月号



「できあがり」

彦坂 有紀//さく もりと いずみ//さく Eヒ 福音館書店 2024年5月発行

シンプルなロールパン。ページをめくるとウインナーをはさんでホットドッグのできあがり。ページをめくるとなにかができるか、ワクワクします。木版画で描かれたお料理はどれも美味しそう。子どもたちの好きなお料理ばかりですね。



「いつかまたあおうね」

パット・ジトロー・ミラー//文 スージー・リー//絵 かみや にじ//訳

E 933 ミ 偕成社 2024年5月発行

会いたい人と離れて暮らしている、それはどんな気持ち？どんなことをその人に伝えたい？大好きな人を思いやる気持ちがあふれた、優しい絵本です。各ページの穴あきのしかけ越しに、二人の気持ちが伝わってきます。



「釣って食べて調べる深海魚」

平坂 寛//文 キッチンミノル//写真 長嶋 祐成//絵

K 664 ヒ 福音館書店 2024年5月発行

不思議な姿の深海魚を釣って、観察してみましよう。変わった姿や色をしていたり目や体が光るのには、ちゃんと理由があるのです。そして美味しかったり、「体がふるえあがるほど」不味かったりするのも深海魚ならではの理由が。まだまだ謎がいっぱいの深海魚に迫る写真絵本です。



「再会の日に」

中山 聖子//作 K 913 ナ 岩崎書店 2024年4月発行

離婚という大人の都合で引き離された姉妹。3年経ち6年生になった姉の目線で物語が進みます。妹と離れてしまったのは自分のせいではないかという誰にも言えない後悔。大切な人の願いをかなえるために、親に内緒で3年ぶりに一人で妹に会いに行く時の心細さ、強がり、身近な人のことを思いやる気持ち、いろいろな気持ちがないまぜになりながら、自分の殻を破って進んでいく過程が優しい視線で語られています。

※この他にも、あたらしい本がたくさんあります。くわしくは、「としょかんホームページ→WebOPAC 本をさがす →資料検索→新着検索→新刊検索または新着検索→子どもの本」をチェックしてみてくださいね。